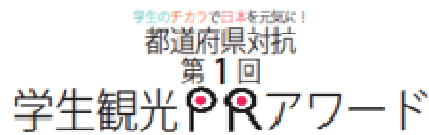


2013 年 2 月 23 日

報道各位

都道府県対抗・学生観光 PR アワード
実行委員長 山下静香



第1回都道府県対抗・学生観光 PR アワード

全国参加 66 大学・178 名の中から、

初代グランプリ・観光庁長官賞とアジアミスキャンパスによるインバウンド賞

が、ダブル受賞で新潟大学・渡辺直美さんに決定！！

全国 47 都道府県のミスキャンパス候補者等（全国 66 大学）が、方言で「おらが街」を国内外に PR する企画「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光 PR アワード」（略称：ガクチカ観光 PR アワード (<http://www.misscampus.net/kankoaward/>))（註）の決勝戦が 2 月 23 日（土）千葉県千葉市にあります東京情報大学千葉ステーションキャンパスにて行われ、グランプリ・観光庁長官賞、並びにインバウンド賞が決定いたしました。

本アワードは、現在の閉塞感漂う日本において、将来を担う学生が、自分が通う大学がある町、市、県、地域の活性化に少しでも寄与しようと立ち上がったもので、学生世代の元気の象徴として、各大学の 47 都道府県のミスキャンパス等の大学生が、地元の観光 PR を、学生ならではの自由な発想・アイデア、時に方言で行うことで参加し、学生視点の新たな日本の魅力の発見・発信と、地域観光への寄与することを目指しております。

全国 66 大学の参加者は、2012 年 10 月～2013 年 1 月の間、Google+ と YouTube 上で、各地域の観光活性化につながる「地元の観光 PR」または「とっておきのおススメ観光プラン」を地元の言葉（方言）で投稿を行ってきました。投稿は各候補者の「Google+」アカウント上で行われ、候補者の投稿に対する「+1」による応援投票が行われ、本アワード全体のフォロワー数は 63,000 に達しました。（「+1」とは投稿に対しての共感や応援、おすそめを意味します。）また、観光庁、36 道府県、開催地千葉市のご後援を頂いております。たくさんの方のご支援の元、開催することが出来ました。

本アワードは、「個人戦」と「団体戦」で構成され、2 月 23 日（土）、団体戦にて上位 10 校に選ばれた大学の代表 10 名が千葉県千葉市にあります東京情報大学千葉ステーションキャンパスに集結し、各地元の PR を方言で発表いたしました。

参加した全国 66 大学の中から今回決勝進出を果たしたのは、北海道大学 文学部人文科学科 2 年 吉原未来さん（北海道）、東北学院大学 教養学部言語文化学科 1 年 阿部遥奈さん（宮城県）、茨城大学 人文学部社会科学科 3 年 菅野結衣さん（茨城県）、千葉大学 教育学部中学校教員養成課程美術科教育分野 1 年 島崎真奈さん（千葉県）、成蹊大学 文学部国際文化学科 1 年 森夏美さん（東京都）、新潟大学 法学部法学科 3 年 渡辺直美さん（新潟県）、名城大学 農学部生物環境学科 3 年 浅井潮さん（愛知県）、金沢大学 医薬保健学域 薬学類 3 年 スタッブアンジェリーナ由紀子さん（石川県）、関西大学 文学部総合人文学科 2 年 土橋 花梨（大阪府）、熊本県立大学 総合管理学部総合管理学科 1 年 沼川真緒さん（熊本県）の 10 名です。

この代表 10 名中でインバウンド賞、グランプリ・観光庁長官賞には、新潟県代表 新潟大学法学部法学科 3 年渡辺直美さんが選ばれ、二つの賞を受賞いたしました。

また参加 10 名の皆様の素晴らしい発表を受け、審査委員長、井手憲文観光庁長官のご高配により決勝戦出場者の皆様の入賞が決定いたしました。

インバウンド賞は、共催のミスキャンパスサミット実行委員会による第二回ミスキャンパスサミットに参加をしているアジアからのミスキャンパス 3 名（インドネシア代表 ミスペリタ・ハラパン大学 マリア・アステリア・サストラユ・ラジュンさん、ベトナム代表 ミスベトナム外交学院 ファム・トー・クエンさん、シンガポール代表 ミスシンガポール国立大学 ルイーザ・リムさん）による審査で決定致しました。

<審査委員>

・観光庁長官賞

【審査委員長】井手憲文様（観光庁長官）【副審査委員長】藤原洋様（ブロードバンドタワー会長兼社長）、櫻井尚子様（東京情報大学教授）、David Koizumi 様（ファッションプロデューサー）、

太田雅人様（GETTI Group 代表）

・インバウンド賞

インドネシア代表 ミスペリタ・ハラパン大学 マリア・アステリア・サストラユ・ラジュンさん、ベトナム代表 ミスベトナム外交学院 ファム・トー・クエンさん、シンガポール代表 ミスシンガポール国立大学 ルイーザ・リムさん

<ガクチカ観光 PR アワード 開催状況>

・参加都道府県：47 都道府県

・参加大学数：66 大学

・参加者数：178 名（全国のミスキャンパス等）

・Google+ ページ「+1」：16,730

・参加者（178 人）のフォロワー数：63,346（2013 年 2 月 13 日時点）

決勝戦掲載メディア

【新聞】

北國新聞（2 月 9 日付）、河北新報（2 月 22 日付）、千葉日報（2 月 22 日付、2 月 24 日付）

【TV】

TBS 系列 情報 7days ニュースキャスター（2 月 23 日 22 時～23 時 30 分放送）

NHK 首都圏ニュース（2 月 23 日 20 時 45 分から放送）

チバテレビ NEWS チバ 600（2 月 23 日 18 時から放送）

＜ガクチカ観光 PR アワード 団体戦決勝の様子＞

■グランプリ・観光庁長官賞

新潟県代表 新潟大学法学部法学科 3 年渡辺直美さん



写真) 観光庁長官 井手憲文さまと渡辺直美さん 受賞の様子

■インバウンド賞



写真) 左からインドネシア代表 ミスペリタ・ハラパン大学 マリア・アステリア・サストラユ・ラジュンさん、ベトナム代表 ミスベトナム外交学院 ファム・トー・クエンさん、渡辺直美さん、シンガポール代表 ミスシンガポール国立大学 ルイーザ・リムさん

■フォトセッション・集合写真



■決勝進出 10 大学の発表の様子（順不同）

- ・北海道大学（北海道）
吉原未来さん



- ・東北学院大学(宮城県)
阿部遥奈さん



- ・茨城大学（茨城県）
菅野結衣さん



- ・千葉大学（千葉県）
島崎真奈さん



- ・成蹊大学（東京都）
森 夏美さん



- ・新潟大学（新潟県）
渡辺直美さん



- ・名城大学（愛知県）
浅井潮さん



- ・金沢大学（石川県）
スタッフアンジェリーナ由紀子



- ・関西大学（大阪府）
土橋 花梨



- ・熊本県立大学（熊本県）
沼川真緒



「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」

開催概要

- 名 称：＜学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード＞
- URL：<http://www.misscampus.net/kankoaward/>
- 略 称：＜ガクチカ観光PRアワード＞
- 開催日時：都道府県対抗戦：2012年10月～2013年1月
決 勝 戦：2013年2月23日（土）
- 開催場所：各大学キャンパスでの学園祭及びWEB
決勝戦会場：東京情報大学・千葉ステーションキャンパス
- 主 催：学生のチカラで日本を元気に！都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会
- 企画運営：都道府県対抗・学生観光PRアワード運営事務局
- 参加大学：全国47都道府県・66大学が参加
北海道大学、弘前大学、秋田大学、岩手大学、東北学院大学、山形大学、福島大学、新潟大学、茨城大学、群馬大学、千葉大学、東洋大学、獨協大学、埼玉大学、宇都宮大学、横浜国立大学、横浜市立大学、東京大学、慶応義塾大学、上智大学、立教大学、学習院大学、青山学院大学、成蹊大学、國學院大學、明治学院大学、中央大学、専修大学、皇學館大学、金沢大学、富山大学、信州大学、福井大学、名城大学、立命館大学、日本大学、都留文科大学、岐阜大学、岐阜薬科大学、甲南大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、奈良県立大学、畿央大学、和歌山大学、広島大学、岡山大学、鳥取大学、島根大学、徳島大学、松山大学、愛媛大学、下関市立大学、高松大学、高知大学、福岡大学、中村学園大学、佐賀大学、宮崎大学、長崎大学、大分大学、熊本県立大学、鹿児島大学、鹿児島純心女子大学、沖縄キリスト教短期大学
- 特別後援：CampusNavi、5L、地活NEWS
- 後 援：観光庁、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、群馬県、茨城県、栃木県、埼玉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、千葉市
- 課 題：＜あなたなら、地元の観光の魅力をどう語りますか？＞
あなたの地元の観光活性化につながる「地元の観光PR」または「とっておきのおススメ観光プラン」を地元の言葉（方言）で行なってください。

●＜学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード＞
コンテストフレーム



■ご参考資料

＜ガクチカ観光PRアワード決勝戦会場＞

・東京情報大学について **東京情報大学**

東京情報大学は、学校法人東京農工大学の系列校として、1988（昭和 63）年 4 月、千葉県に開学。

シンボルマークおよび学旗のデザインは、葡萄をイメージしている。葡萄の木が大量の情報伝達能力をもつインフォーマルコミュニケーションの比喩として用いられることから、情報社会で活躍する人材を育成する「現代実学主義」の教育理念を示すとともに、葡萄は一粒一粒が「甘み」「香り」など果実としての個性を主張していながらも、房全体として調和が保たれていることから「自立と協調」という学生指導の理念を象徴している。

・東京情報大学・千葉ステーションキャンパスについて

東京情報大学・千葉ステーションキャンパスは、2012 年に、東京情報大学の新しい情報発信基地として、JR千葉駅近くに開設されました。

このステーションキャンパスは、小学生から社会人までの皆様に東京情報大学を身近に感じていただくために開設され、地域との密着を目指すため、「情報学に関するミニキャンパス」として位置づけられたものです。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山 4-18-21 3 階

学生のチカラで日本を元気に！第 1 回都道府県対抗・学生観光 PR アワード実行委員会

TEL. 03-5775-0666 FAX. 03-5775-0672

実行委員長 山下静香

TEL. 090-2213-0666 Mail: kankou.pr.award@gmail.com